

教科・科目	家庭・家庭総合	2単位	対象学年・組・区分	2年1～7組
教科書 ・副教材等	新家庭総合（実教出版） 新家庭総合学習ノート	教科 担当者	家庭科 大蔵佳維、船津香住、中田京子、檜山時恵、奥田由美子	

目 標	一学期	青年期の課題である自立について認識させる。家庭の機能と家族関係の法律を理解させる。高齢者の心身の特徴と生活、福祉について理解させ、共生を考えさせる。
	二学期	乳幼児の発達の特徴、保育知識を習得させ、子どもの健全な成長を図る能力と態度を育てる。被服材料、構成、管理について科学的実践的に理解させる。基礎的な被服製作が出来るようにする。
	三学期	家庭の経済生活、消費者の権利と責任について理解させる。消費生活の現状と課題、消費者の保護について理解し、実践的主体的な態度を養う。

学期	月	単元	時間	学習内容
一 学 期	4月	家庭総合とは	24h	オリエンテーション 家庭総合の目標
	5月	自分らしい生き方と家族		自分を見つめる 自立した生き方 家族に関する法律
	6月	高齢者とかかわる		高齢社会に生きる私たちの暮らし
	7月	高齢者とかかわる		高齢期の理解 高齢者を支える
二 学 期	9月	子どもとかかわる	28h	命を育む 子どもの育つ力を知る 親として共に育つ これからの保育環境
	10月	子どもとかかわる		子どもとの関わり
	11月	衣生活をつくる		被服の役割を考える 被服を入手する 衣生活実習
	12月	衣生活をつくる		被服を管理する 衣生活の文化と知恵 衣生活実習
三 学 期	1月	消費行動を考える	18h	消費行動と意思決定 社会の変化と消費生活
	2月	消費行動を考える		消費者の権利と責任 持続可能な社会環境
	3月	経済的に自立する		経済のしくみを知る ライフステージと経済計画

評価の観点 ・方法	出席状況 定期考査成績 実習レポート 提出物 授業態度 実習態度など総合的に勘案し評価する
--------------	---

教科・科目	家庭・家庭総合	2単位	対象学年・組・区分	3年1～7組
教科書 ・副教材等	新家庭総合（実教出版） 新家庭総合学習ノート	教科 担当者	家庭科 大蔵佳維、船津香住、中田京子、檜山時恵、奥田由美子	

目 標	一学期	住居の機能やライフステージごとの重要級について理解させる。将来に向けて住生活の創造を考えさせる。
	二学期	栄養素の種類と働きやそれぞれの栄養素が多く含まれる食品について基礎的な知識を習得する。
	三学期	これからの人生を豊かにする生活設計を考える。

学 期	月	単 元	時間	学 習 内 容
一 学 期	4月	家庭総合とは	24h	2学年の復習（ホームプロジェクト）
	5月	住生活をつくる		日本の和風木造住宅・住まいの機能を考える
	6月	住生活をつくる		住生活について考える
	7月	住生活をつくる		計画と選択 住生活の文化
二 学 期	9月	食生活をつくる	28h	人と食物のかかわり 私たちの食生活
	10月	食生活をつくる		栄養と食品の関わり 食品の選び方と安全
	11月	食生活をつくる		食事の計画と調理
	12月	食生活をつくる		これからの食品を考える
三 学 期	1月	食生活をつくる	18h	食に関する世界との関わりを考える
	2月	食生活をつくる		生涯を見通す ホームプロジェクト 家庭総合のまとめ
	3月	個別指導		個別指導

評価の観点 ・方法	出席状況 定期考査成績 実習レポート 提出物 授業態度 実習態度など総合的に勘案し評価する
--------------	---

教科・科目	家庭・子どもの発達と保育	2単位	対象学年・組・区分	3年必修選択
教科書 ・副教材等	子どもの発達と保育（実教出版） 保育学習ノート	教科 担当者	家庭科 船津 香住	

目 標	一学期	乳幼児の発達の特徴、保育に関する知識を習得させ、子どもの健全な成長を図る能力と態度を育てる。人とのふれあいの大切さや子どもの遊びの意義と重要性、遊びと発達の関わりを理解させる。
	二学期	乳幼児の発達に応じた適切な養護について理解する。子どもと遊び、表現活動、児童文化財などに関する知識と技術を習得させる。
	三学期	児童福祉について基本的な法律と制度について理解させる。子育て支援の必要性や現状課題について理解させる。

学 期	月	単 元	時間	学 習 内 容
一 学 期	4月	オリエンテーション 子どもの発達の特性	24h	発達と乳幼児期の意義
	5月	子どもの発達の特性		発達と保育環境 児童観と発達観
	6月	子どもの発達の過程		子どもの発育、子どもの精神発達
	7月	子どもの発達の過程		人間関係の発達
二 学 期	9月	子どもの生活	28h	生活と養護
	10月	子どもの生活		子どもの遊び
	11月	子どもの生活		生活習慣の形成
	12月	子どもの生活		健康管理と事故防止
三 学 期	1月	子どもの保育	18h	保育の意義と重要性、子どもの福祉
	2月	個別指導		個別指導
	3月	個別指導		個別指導

評価の観点 ・方法	出席状況 定期考査成績 実習レポート 提出物 授業態度 実習態度など総合的に勘案し評価する
--------------	---

教科・科目	家庭・ファッション造形基礎	2単位	対象学年・組	3年必修選択
教科書 ・副教材等	ファッション造形基礎（実教出版）	教科 担当者	家庭科	大蔵佳維

目 標	一学期	ファッションの楽しみ方を知る。被服構成について理解させる。
	二学期	洋服の基礎的基本的な知識と技術を身に付け、自由作品の製作を行う。
	三学期	自分のファッションについて考えられる力を付ける

学 期	月	単 元	時間	学習内容
一 学 期	4月	ガイダンス	24h	センスとは何か、見た目によるファッションを学ぶ
	5月	エシカル		ものの背景を考える(食品・ファッション・アクセサリ)
	6月	被服製作実習		基本の縫い方(手縫い) あずま袋製作(しるしのつけ方、裁断、手縫い)
	7月	立体構成衣服と平面構成衣服		立体構成衣服と平面構成衣服 布地の性質と扱い方、適切な縫い目
二 学 期	9月	被服製作実習	28h	1学期の基礎をもとに応用作品の製作(衣服素材の種類、衣服素材の性能、布地の性質と扱い方、適切な縫い目、基本の縫い方)
	10月	被服製作実習		自由製作
	11月	被服製作実習		自由製作
	12月	被服製作実習		自由製作
三 学 期	1月	ファッションまとめ	18h	流行を上手に取り入れた自分のファッションを考える
	2月	質問対応		質問対応
	3月	質問対応		質問対応

評価の観点 ・方法	出席状況 作品等の提出物 授業態度 実習態度など総合的に勘案し評価する
--------------	-------------------------------------